市税の話

（税務課）

経済界がデフレの圧力に喘ぐこと既に久しいがまだ明るい見透しも立たないようである。希望的観測を下すものもあり、悲観論者もあるがいづれにしても現在各種産業が深刻な不況に見舞われていることは申すまでもないが岳南の中枢産業である紙業界が特に重大な打撃を蒙り随つてその余波が間接にあらゆる面に及ぼしていることは何としても痛い。

市税も景気と直結していることは勿論で景気が悪るければ所得が減少しそれに課せられる市税（法人個人の市民税等）が減収となると同時に徴税の面にもその影響を及ぼしわしないかと憂慮される。

最近「地方財政の危機」が叫ばれ既に地方団体の財政運営上重大な支障を来たしているところも少なくないようである。

なほ本年五月地方税法の一部が改正されたのであるがその主要な点は大体次のようである。

（一）**市民税**の一部は県民税として県税に移譲された（移譲率法人税割四〇%、個人二八%程度）

（二）**固定資産税**の税率百分の一・六が本年度百分の一・五に引下げられた。（昭和三十年度以降は百分の一・四となり又大規模償却資産に対する市町村の課税権が一定限度に制限され超過部分は県税として課せられる。）

（三）新たに**市たばこ消費税**が創設され専売益金の一部が市町村へ移譲された。（税率は小売価格の百十五分の十。）

（一）（二）は減収となり（三）は増収となるわけであるが当市の場合差引減収となることは明らかであり殊に明年度以降の減収は一層顕著となるであろう。

即ち経済界の不況と税制改正は当市としては悪条件の累加であり決して市財政も無条件の楽観は許されないのである。

反面財政需要に於ては市制施行に伴い富士市建設五ケ年計画に基く各般の事業を遂行しなければならない。本年度は合併後の初年度であり重要な時である。

昭和二十九年度予算もそれを根底として編成されている事は勿論でありこの予算の消化即ち直接市民の福祉となる各種事業遂行に市当局は主力を傾注するであろうし市民も合併の具体的成果を期待し重要な関心も寄せているであろう。

このような収入面の悪条件下に新市建設の諸事業を推進するが故にこゝに市税収入確保の重要性が一段と強調される所以である。云い換えるならば市政に対する市民の理解の下に市税は是非共完納していただきたいということである。

最近昭和二十八年度の旧三ケ町村の決算も大略終了したのであるが納税成績は非常に良好である。

旧三ケ町村税調定総額は一億八千万円であるがその収入歩合は九七%である。おそらくこの成績は他市に誇り得るものと思はれると同時に税源に恵まれている点に於ても他市の羨望の的である。

即ち税収の順位に於ては県下十五市中第六位（静岡、浜松、清水、沼津、熱海に次で富士）で納税成績に於てはその筆頭であり先進諸都市をリードしているが今後手放しの楽観は許されなくなつたことは前述の通りであり、おそらく昭和二十八年度を分水嶺として税収は下向線を描くであろう。

市の勧奨する納税貯蓄組合の設立普及も亦以上の趣旨に外ならない。幸にして市民の積極的御支援を希ふや切／（税務課長内山正巳）

タバコは市内で買いましょう

完納の土台は納税組合

「納税組合の発展」

市税の円滑なる期限内完納は、当富士市にとつても特に重大関心事であることは申すまでもありません。同時にこれを如何にしたら最も納め易くて、簡単に処理が出来、得な方法かと考へますと、やつぱり納税組合の組織より他に、手段がありません。そこで当局としては富士市誕生後の急務として納税組合の普及強化を御奨めしてきました。其の第一目標として、納税組合の比較的少ない地区、田子浦の皆様に接して、納税組合の設立方を御願いして廻りました。中にはこんな雑談もあります。

「どうも納税組合なんて市役所の手伝いみたいなものだな」「けれども滞納したりして莫大な整理費が掛かれば、それがみんな市民の負担になることだし……そうばかり言つていられないよ」「そうか滞納して困るのは税務課の奴だけだと思つていたが」「冗談ぢやないよ、其の書類費用も日当もみんな市民の支出だからね、つまり我々は株主で彼等は公僕だよ、君が滞納すれば間接に俺も迷惑しているんだ」「どの道、納めなければならない税金だからな」「そうさ気持よく協力して補助金でももらつた方が……自分もよし、人もよしか」「その補助金のもとはどこから出るんだ」「税金の一部さ」「アチャー俺が出して人に取られてたまるか、真つ先に加入するよ」……なぞと活溌な御意見もあります。

とに角、各部落毎に熱意を持つて研究され、次から次と納税組合の結成を見るに至りました。これは部落の役員方の御尽力も甚大であつたが同時に市民の皆様が愛郷の真心より大乗的に和協一致結束して下さつた賜と信じます。

尚この際、富士地区、岩松地区の未加入の方々も至急参加せられて此の盛り上る皆様の熱意に華を咲かせて下さる事を切望します。

（註）納税組合の補助金は十月初旬、規定の算出に依り配布する予定です。

ネヅミの駆除をいたしましよう

（衛生課）

衛生的な文化生活を営むためには蝿蚊等の有害昆虫を駆除することと共に鼠の駆除こそ最も大切なことです。便所下水などどんなきたない処でも平気で歩き廻つて其の足で食物や食器食卓の上を歩き食物に口を附けるのです考へただけでも「ゾツ」とするではありませんか鼠の種類は非常に多く約二六〇種に上ると云はれ日本に居るものでも五〇—六〇種でその数も人口の三倍乃至四倍は居ると云われております。

鼠もその種類によつて純家外、半家内、家内に居住するものがあります。日本で通常住居に見られるものは「くまねづみ」「どぶねづみ」「はつかねづみ」などが主なものです。

鼠の繁殖力は甚だ旺盛でその種類によつて違いますが普通生後百日位で青春期に入り交尾三週間後にして分娩、分娩後七日に再び発情と云う具合にその繁殖力は非常に旺盛一対の鼠の夫婦は一ケ年後には一五〇〇匹にさえなり得るとさえ云はれまつたく驚く外ありません。

元来「ねづみ」は非常に大食漢で一四一日平均五〇瓦食すると云はれこの割合で計算すると日本で一ケ年間に五四〇萬トンこれを米のみに換算すると産米の半分の量に達する被害とさえ云はれて居ります。それのみか鼠は「ペスト」や発疹チブスの弟分の様な発疹熱を媒介し又例の浜松市の大福餅事件の様な食中毒（サルモネラ中毒）を起し又ワイル氏病恙虫病旋毛虫病の伝播にも関係あると云はれています。

此の様に鼠の生態や被害等を改めて考えてみたとき比較的意にも留めずに鼠と同居生活を続けていた今迄の愚かさがつくづく考へさせられ一日も速やかに鼠族の絶滅を期さなければならないと存じます。此の見地に立つて衛生課に於ても近く全市一斉に薬品による一斉駆除を計画中で市民各位の絶大な協力を頂きたいと存じます。

鼠を駆除しようとするときは先づ鼠の生存している数、大きさ、種類、更にその嗜好等を知つておく必要があります。家屋内に通常一匹の鼠が目につく時には約一五—二〇匹の鼠が居るとされています。通路の状況、穴、活動状況等によりその数を察知することができます又糞の大小によりその体の大小を推定することが出来るし通路を知るには木材部の処は黒く足跡が[illegible]土の部分は[illegible]光つて来さえします。鼠の嗜好を知るには数種の餌（毒の入つていないもの）を配置しその喫食状況を見ればわかります。駆除の方法は補鼠器によるものと薬物によるものとがあります。

薬物による駆除の方法はその薬品により違いますが普通現在使用されている「猫イラズ」メッツの様な薬物を使用する場合は左の様にするとよいと思います。先づ鼠の好む餌を調査しそれにより餌つけ（毒の入つていない餌を二、三日配置し充分食べさせて鼠に安心させる）をしてから其の餌を用い毒餌を作る。毒餌の作り方は毒を団子に練り込む方法と団子の中え餡の様に包み込む方法甘藷、馬鈴薯人参油揚げ、パン等に塗りつけるか中に挟んで作る方法がありますが何れでも良いと思います。団子の大きさは小指頭大が良いと考えます。出来た毒餌は三、四箇づつ新聞紙様のもので簡単に包み鼠の通路や穴より一尺程離れた場所で鼠の見易い場所に配置するが良いとされています。翌日の残餌はよく調べて土中一尺以上の処え埋めることが必要です目下計画中の一斉駆除は「ネオメッツ」を使用して実施の予定ですので各位の協力を重ねて御願いいたします。

富士福祉事務所発足

（厚生課）

富士市福祉事務所も御承知の通り去る三月三十一日富士市制施行と共に発足し従来各町村の厚生事務其他福祉に関する業務を拡充して其の機構を改め所長一名現業員五名庶務係三名施設係一名公益質屋二名老人ホーム三名にて福祉三法（生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法）を始め戦傷病者戦歿者遺族等援護法、恩給法（一般文官関係を除く）災害救助法等の施行に関する件並に民生委員、児童委員日本赤十字社に関すること、共同募金に関すること、生業資金、母子福祉資金に関すること、引揚援護に関すること、その他社会福祉事業に関する一切の事務を取扱い富士市四万有余名の福祉面によき相談相手として明るい住みよい市の建設に従つて居ります。福祉事務所の機能を十二分に発揮せしむるには市民の絶大なる協力と理解ある援助に依らなければなりません各地区毎に協力機関として民生委員が委嘱されて居りますので充分に御相談せらるる様御願い致します。

尚遺族の方々には**遺族相談員**がありまして御遺族の身上相談恩給法による公務扶助料、援護法による年金及び弔慰金等の事務に関し常に福祉事務所と密接なる連絡を取りつつ皆様の為に盡して居りますので何事によらず御相談せらるる様御願い致します。

亦社会福祉協議会の設立を見まして愈々明るい富士市の発展に寄与せらるる事を期待して居ります。民生委員の氏名担任区域は左記の通りであります。（尚遺族相談員は佐藤民生委員が委嘱されております。民生相談連絡員は仲沢民生委員が担任して居ります。）

高島、藤間、川原宿	川原宿	加藤伊作
五味島、塔ノ木、南本田	南本田	植松清
本州社宅、本市場	本市場	石川金十
国久厚生寮	国久	佐野道江
本市場新田、中島、松本	中島	佐藤恵温
柚ノ木、平垣一金正寺以西	平垣	渡辺三之
平垣二、三、四	平垣	田沢とき
下横割、十兵衛北	下横割	佐野好夫
水戸島中（一部）上	水戸島中	岩辺武男
森島、宮下、東芝社宅	森島	八木安一
上横割	上横割	大竹清一
水戸島中（一部）下	水戸島下	大石八重治
本町、中町	中町	塩沢松枝
下横割（一部）東芝社宅	下横割	仲沢和作
下横割、南十兵衛	南下横割	鳥居禎次郎
舟場、四丁川原	[illegible]	井上峰吉
橋下、新町	新町	[illegible]
裏町、仲町	[illegible]	[illegible]作
四ツ家、東田、瀬戸河原	四ツ家	[illegible]
下中、坂	坂	[illegible]
滝戸	滝戸	[illegible]
柳島、川成島	柳島	秋山[illegible]
東宮、新田、助六	助六	大村[illegible]郎
西宮、上五貫島、下五貫島	西宮島	佐野文作
三四軒屋	三四軒屋	井上理三郎
新浜	新浜	時田栄作
中丸、小須	中丸	遠藤新作
田子、鮫島	鮫島	加藤ふで
前田新田	前田新田	市川由太郎
前田	前田	船山まつの

新市紹介

（商工課）

大展覧会の開催

全国一五〇の新しい市が其の特徴を天下に紹介する目的を以て本年九月二十八日から十月三日まで東京日本橋三越の七階で大展覧会を開催いたしますから御観覧をお勧めいたします。

展示出品物は全国各市が腕によりをかけて計画したものばかりで勿論私共の富士市も出してありますいろいろと珍しい有益な出品が沢山あることと存じます概要は次の通りであります

(1) **新市紹介個別展示**　自九月二十八日　至十月三日

全国一五〇の新市が独創的なものを出品いたします

(2) **特産名物即売会**　自九月二十八日　至十月三日

新市を含め全国各市の特産名物の展示即売が行われ其の範囲は想像出来ません

(3) **記念行事**　自九月二十八日　至九月三十日

ミス新市発表会
郷土芸能発表会
新市紹介写真コンクール発表会
於　三越劇場